

第2次宇都宮市食料・農業・農村 基本計画（後期）

担い手いきいき！消費者にっこり！

地域と築く「農業王国うつのみや」



2019年3月
宇都宮市

目 次

序 章	計画の改定に当たって	1
第 1 章	農業を取り巻く環境の変化	3
第 2 章	本市農業の現状と課題	8
第 3 章	本市が目指す農業都市像	4 2
第 4 章	「農業王国うつのみや」戦略プラン	4 6
第 5 章	基本施策の展開	5 2
	・地産地消に関する取組方針（宇都宮市地産地消推進計画）	6 6
	・都市農業振興に関する取組方針（宇都宮市都市農業振興計画）	7 4
第 6 章	計画の推進に向けて	7 6
資料編		
1	食料・農業・農村に関するアンケート調査結果	7 7
2	地区別の現状に関する調査結果	9 9
3	検討経過・体制等	1 1 5

はじめに



「稼げる農業」の実現と
「地域ぐるみで支える農業・農村体制」の確立に向けて

宇都宮市長 佐藤 栄一

本市では、鬼怒川水系を中心とする豊かな水資源や、10,000haを超える肥沃で広大な農地などの恵まれた自然条件を活かし、米を基幹作物とし、園芸、果樹、花き、畜産など、多岐に渡る高品質な農産物が生産されています。

こうした中、本市におきましては、「農業王国うつのみや」の実現に向けて、これまで、未来の担い手の育成や農業生産における収益性の向上に取り組み、直近5年間で新規就農者は110経営体増加し、農業産出額も34億円増加するなど、一定の成果をあげてきたところであり、本市の農業は本市の経済を支える主要な産業の1つとなっています。

しかし、一方で、わが国においては、依然として農業者の高齢化や減少が進行し、農業・農村の活力の低下が懸念されており、さらには、経済活動のグローバル化や人口減少による産地間競争の激化など、農業を取り巻く環境は厳しいものとなっていることから、これらの環境の変化に応じた取組がますます重要になっているところです。

こうしたことから、今回、改定を行った後期計画では、10年後の目指す農業構造を明確化し、産業政策と地域政策の視点から「稼げる農業」の実現と「市民が支える農業・農村」の確立に向けた2つの戦略プランを掲げ、施策事業の重点化を図るとともに、現行計画の3つの施策の柱を引き継ぎ、「生産力」「販売力」「地域力」の向上を基本目標とし、これらの施策事業に着実に取り組むことで、持続可能な力強い「農業王国うつのみや」の確立を目指すものとししました。

今後、本計画に掲げる施策事業の実効性を高めながら、目指す農業構造を実現していくためには、行政機関だけでなく、農業者や農業団体、商工業者、消費者、市民・地域コミュニティの連携が不可欠でありますことから、皆様のより一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、計画の改定に当たり、熱心な御審議をいただきました「宇都宮市農業振興対策審議会」、「宇都宮市地産地消推進会議」の委員の皆様をはじめ、御意見・御協力をいただきました市民の皆様及び関係各位に心より感謝申し上げます。

2019年3月